

ナンバリング	B①07	科目名	こども家庭支援の心理学
担当形態	オムニバス	担当教員	久保 瑤子・佐藤 隆司
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③, ④		
テキスト			
開講時期	後期	単位数・ 授業形態	2 単位・講義
到達目標	1. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解し、説明できる。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、こどもとその家庭を包括的に捉える視点を習得し、活用できる。 3. 子育て家庭を取り巻く現代の社会的状況と課題について理解し、説明できる。 4. こどもの精神保健とその課題について理解し、説明できる。		
授業の概要	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、親子・家族関係に関して発達の観点と社会的な観点から理解する。また、子育て家庭を取り巻く現在の状況と課題、こどもの精神保健等に関して理解する。 なお、授業の進捗状況により若干、授業計画は前後することもあり得る。		
授業計画	第 1 回 オリエンテーション「こども家庭支援」という視点について(石井・佐藤) 第 2 回 乳幼児期から学童期前期にかけての発達(石井) 第 3 回 学童期後期から青年期にかけての発達(石井) 第 4 回 成人期・老年期における発達(石井) 第 5 回 親子関係・家族関係の理解(石井) 第 6 回 子育て経験と親としての育ち(石井) 第 7 回 家族・家庭の意義と機能(佐藤) 第 8 回 子育てを取り巻く社会的状況(佐藤) 第 9 回 ライフコースと仕事・子育て(佐藤) 第 10 回 多様な家庭とその理解(佐藤) 第 11 回 特別な配慮を要する家庭(石井) 第 12 回 こどもの生活・生活環境とその影響(石井) 第 13 回 こどもの心の健康に関わる問題(石井) 第 14 回 第 1 回－第 14 回学修内容確認(石井・佐藤) 第 15 回 総括(石井・佐藤)		
準備学習と必要時間	【予習】毎日10分以上は家族・保育に関連する新聞、ネットニュースなどを読んでおくこと。 【復習】		

	授業後は、授業中に指摘したポイント、留意事項などを説明できるように整理しておくこと(予習・復習計1時間以上)。				
評価方法	・授業態度等(課題提出期限厳守)－ 20% ・課題－20% ・期末試験－ 60%				
参考文献					
特記事項					
特記事項 課題へのフィードバック方法	【留意事項】 ・講義中心。 ・私語、飲食、化粧、電子機器使用(録画・録音等)などは禁止。 【課題等のフィードバック方法】 ・質問は原則、翌週の授業の際、コメントする。 ・課題等に関しては模範解答を提示して解説をする				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格	必修	保育の対象の理解に関する科目
実務経験のある教員等による授業内容					